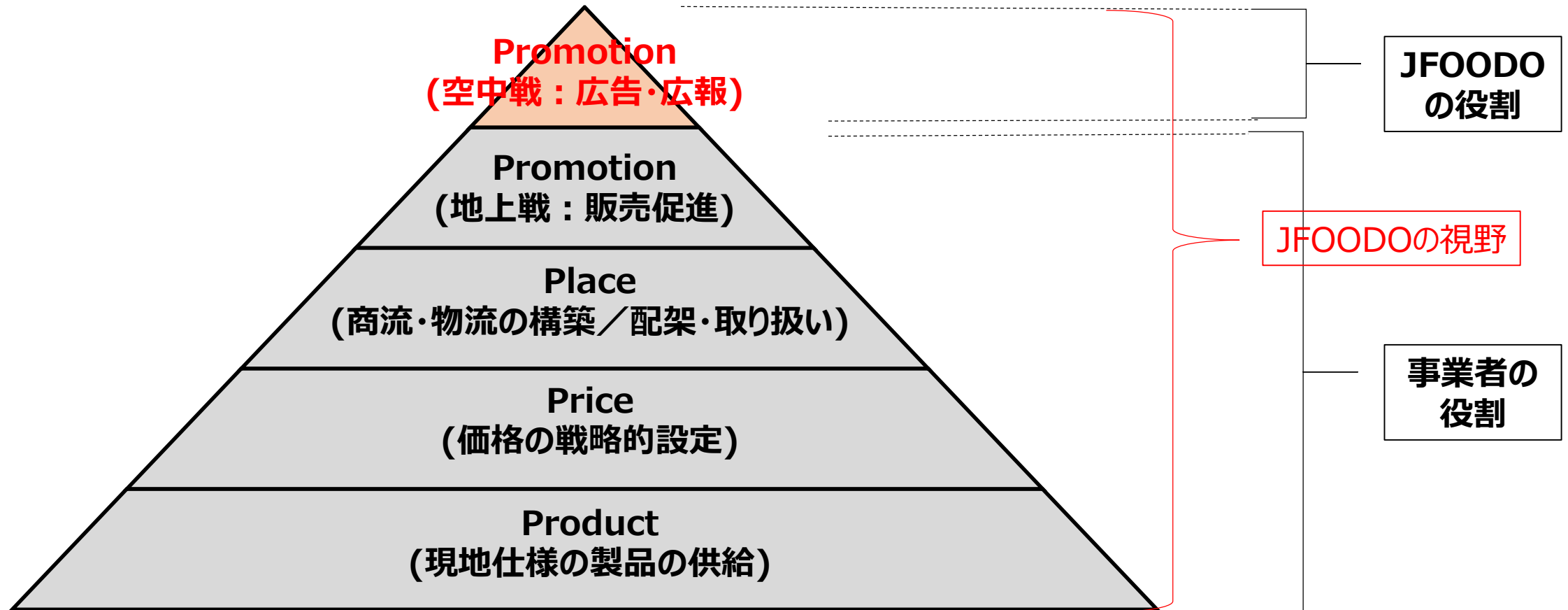


3. 輸出拡大に関する問題意識、課題について

プロモーション効果の前提

JFOODOが担うのは、マーケティングの4PのうちPromotionの「空中戦」の部分であり、これが効果を上げるためには3PとPromotionの「地上戦」を各事業者が主体的に取り組むことが前提となる



輸出開始に関する政府のサポート

- GFP

GFPに参加登録すれば、輸出に関する様々なサービスを無料で受けられる

農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- GFP(ジー・エフ・ピー)とは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「GFPコミュニティサイト」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省が「輸出の可能性」を診断することにより、サポートを10月より開始。



GFP登録者へのサービス提供

- 農林漁業者・食品事業者へのサービス
 - ・輸出診断を無料で実施
 - ・輸出商社の「商品リクエスト情報」の提供
 - ・輸出希望商品の輸出商社への紹介
 - ・輸出のための産地づくりは、計画策定から支援
 - ・メンバー同士の交流イベントへの参加
- 輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス
 - ・生産者・製造業者が作成する「商品シート」の提供
 - ・「商品リクエスト」の全国の生産者・製造業者への発信
 - ・メンバー同士の交流イベントへの参加

GFPへの登録状況（4月末現在）

- 平成30年8月の発表以降、平成31年4月末段階での登録事業者数は全1,258件
- 輸出診断の対象者である農林水産物・食品事業者は841件。そのうち輸出診断（訪問診断）を希望している事業者は412件（33%）。

		登録数(比率)
登録事業者数		1,258
農林水産物 食品事業者	うち、輸出診断申込み数	841 (67%)
	うち、訪問診断申込み数	412 (33%)
流通事業者、物流業者等		417 (33%)

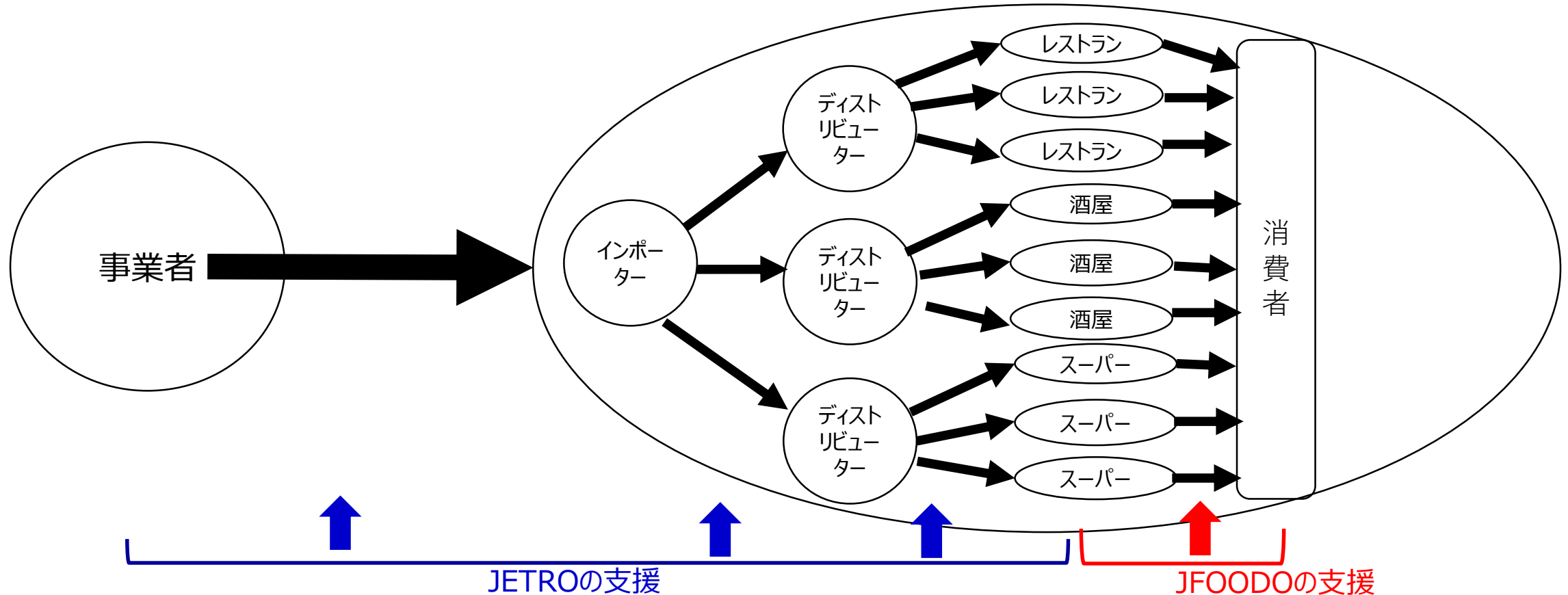
出所：農林水産省HP
<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/attach/pdf/index-252.pdf>

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/gfptop.html>
 GFPサイト
<https://www.gfp1.maff.go.jp/>

輸出開始に関する政府のサポート

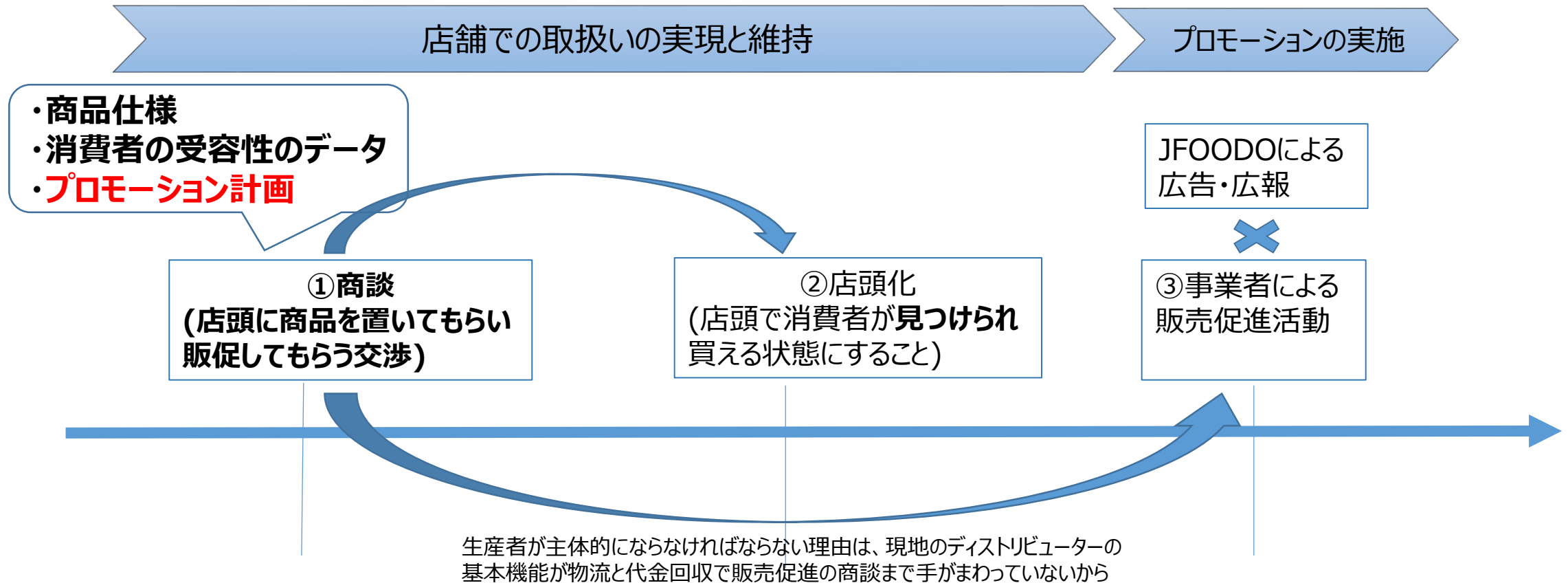
- JETRO

JETROは情報・商談機会の提供などを通じて、事業者の販路構築をサポートをする (Talk to JETRO first)



事業者にはできないこと

事業者が現地の販売業者に商品の取扱いと販売促進の同期化の事前の商談をすることが必須であり、
 広告などのプロモーション計画の内容と規模が交渉の最大の武器となる



2019年度プロモーションに向けたスケジュール

プロモーションの実施前に商品の取扱いを完了し、プロモーションと同期化した販売促進を実現するために
四半期ごとに双方向で進捗を確認する

担い手	FY2019 第1四半期	FY2019 第2四半期	FY2019 第3四半期	FY2019 第4四半期
JFOODO	FY2019JFOODO プロモーションの詳細企画	FY2019JFOODO プロモーションの準備	FY2019JFOODOプロモーションの実施	
事業者 (生産者が 主導)	FY2019プロモーションとの 同期化に向けた、 店舗での取扱い拡大と販売 促進のための商談実施	FY2019プロモーションとの 同期化に向けた、 商談 完了 取扱いの拡大 完了	FY2019JFOODOプロモーションと同期化した 販売促進	
関係省庁、 品目団体、 JETRO 等	上記の前提となるマーケティング 4 P (Product, Price, Place Promotion) の マーケットイン化のサポート			

